

9月10日～16日は、「自殺予防週間」です。 守りたい大切な命 ～大切な人の命を支えるために、あなたにできること～

自殺は、さまざまな問題を抱えての追い込まれた末の死と言われています。その背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などのさまざまな社会要因があります。

自殺や精神疾患について正しく知り偏見をなくするとともに、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいたときの対応方法について理解を深め、ともに支え合うまちをつくりましょう。

身近な人・大切な命を守るためにできることは、こころの不調や悩みに「気づく」こと、声をかけ話を「聴く」こと、専門的な機関へ「つなぐ」こと、そして優しく「見守る」ことです。

●こころの健康・悩みに関する相談窓口

こころの悩みを抱えていたら、その悩みを相談してみませんか。

- ・長崎いのちの電話 ☎095-842-4343
- ・福祉課（南有馬庁舎）☎73-6651



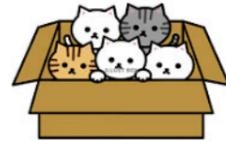
厚生労働省HP

●長崎県自殺対策標語 最優秀賞受賞作品

「ひとりじゃない あなたのそばに いるからね」 荒木 衣里子さん（北有馬町）

猫のトラブルが増えています

📍 環境課（衛生センター庁舎）☎73-6644



猫による糞尿やごみ荒らし、鳴き声など、地域の生活環境のトラブルが増えています。トラブルの多くは、ノラ猫への無責任なエサやり・飼い猫の不適切な飼育が原因とみられ、猫が過剰繁殖して引き起こされています。

「かわいいから」、「かわいそうだから」と身勝手な理由でエサやりだけをすると、近隣住民の迷惑になるばかりでなく、不幸な命を増やすことにもつながります。

- エサは飼い猫にだけ与えましょう。ノラ猫に一度でもエサを与えると、地域に住みついて繁殖してしまう可能性があります。
- 飼い猫には不妊・去勢手術を受けさせましょう。猫は生後6カ月頃から繁殖能力をもち、年に2～3回、1回あたり4～8頭の子を産むことができます。また、交尾したらほぼ確実に妊娠するため、あっという間に繁殖してしまいます。
- 飼い猫は室内で飼育しましょう。放し飼いは近隣住民に迷惑をかけることがあるほか、病気や交通事故のリスクもあります。外に出てしまった場合でも飼い猫とわかるように、首輪や迷子札などを装着しましょう。
- 「地域猫活動」にご協力ください。地域猫活動とは、ノラ猫に不妊・去勢手術を施し、地域住民などの団体に適正管理することにより、ノラ猫の数とトラブルを減らしていく取り組みです。地域猫活動への支援に関する相談については、県南保健所（☎0957-32-3288）で受け付けています。

※捨てネコは犯罪ですので、絶対にしないでください。

令和7年 二十歳のつどい

📍 生涯学習課（南有馬庁舎）☎73-6703

未来を担う二十歳を迎える人を対象に「令和7年 二十歳のつどい」を開催します。対象者には、9月上旬に案内状を郵送しますので、ご確認の上、申し込んでください。

- 📅 令和7年1月4日(土) 午後2時～（受付…午後1時～）
- 📍 ありえコレジヨホール
- 📅 平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた人で、市内居住者または過去居住者
- 📅 10月11日(金)
- 📝 市LINEまたは電話で申し込んでください。



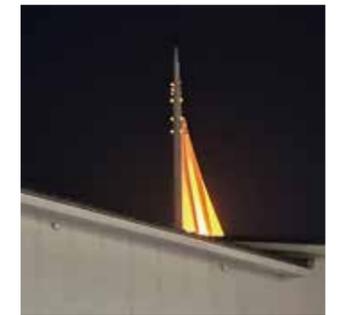
認知症についてみんなで考えよう ～9月は「世界アルツハイマー月間」～

📍 福祉課（南有馬庁舎）☎73-6651

1994年「国際アルツハイマー病協会（ADI）」は、世界保健機関（WHO）と共同で9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定して認知症の啓発を行い、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、さまざまな取り組みが実施されています。

認知症になっても一人ひとりの可能性や力を生かし、よりよく暮らせる地域共生社会を目指しています。この機会にぜひ認知症について一緒に考えましょう。

- 市内における取り組み
 - ・市内図書館…認知症に関する書籍コーナー設置
 - ・市役所各支所…認知症に関する啓発コーナー設置
 - ・口之津港ターミナルビルモニュメントを“オレンジ色”にライトアップ
- 📅 9月21日(土) 日没～午後11時頃
- ※オレンジ色は、認知症のシンボルカラーです。



蛍光管の出し方にご注意ください！

📍 環境課（衛生センター庁舎）☎73-6644

最近、金属類と同じごみ袋の中に「蛍光管」が混入しているケースが報告されています。蛍光管は割れやすく、収集・分別作業中のケガの原因となりますので、次の点に注意して出してください。

そのほかのごみも正しく分別をお願いします！

- 割れていない蛍光管（有害ごみ）各町の不燃物収集場所の専用の容器に入れてください。ごみステーションには出さないでください。
- 割れた蛍光管（ガラス・陶器類）不燃ごみの袋に入れ、ごみステーションまたは各町の不燃物収集場所に出してください。